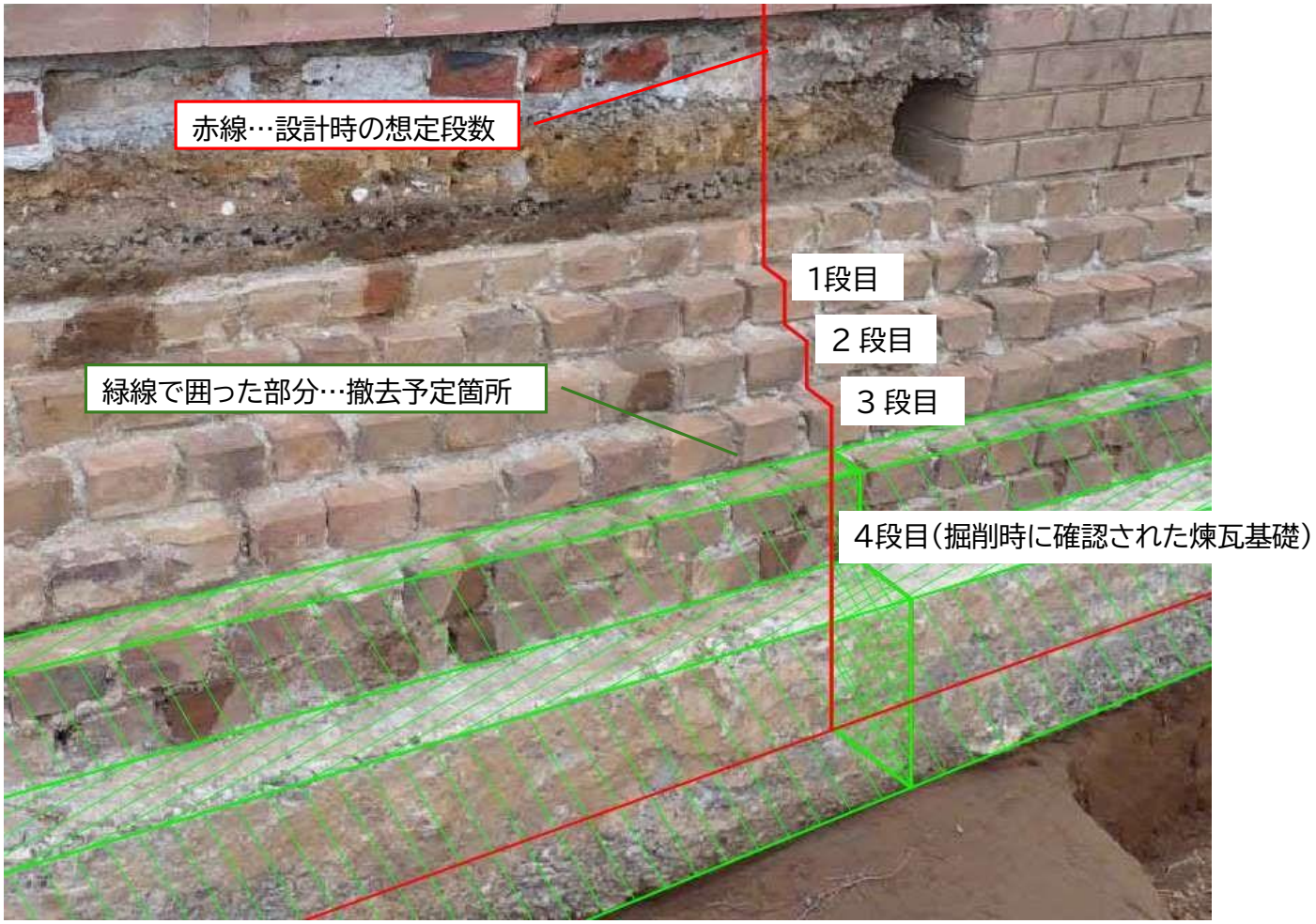
| 令和６年度庁議報告事項 | |
|---|---|
| 第１２回庁議（２０２４年１０月１日） | 区民部文化振興・多文化共生推進課 |

【件名】
旧中野刑務所正門の進捗状況等について

【要旨】（目的・内容・対象・時期・今後の方向等）
旧中野刑務所正門（区指定有形文化財：旧豊多摩監獄表門。以下「正門」という。）の移築・修復工事に係る進捗状況及び今後について、以下のとおり報告する。

1　工事の中断について
正門は荷重を分散して支えるため、以下の写真のとおり下部に行くにつれ広がるように階段状の煉瓦基礎で支えられている。工事を進める過程で、煉瓦基礎の段数が設計時に想定していたよりも多く、基礎幅が大きいことが判明した。
このことから、補強方法の見直しと安全性の確認を行うため、令和６年６月２７日から移築・修復工事を中断した。




■煉瓦基礎の状況（一例。正門北側）

２　検証結果及び工事の再開

設計の再検証及び安全性の確認については、文化財保存の観点のほか平和の森小学校新校舎整備工事への影響も考慮し行った。

現存する煉瓦基礎を生かし設計の変更を行うと、構造計算や建築基準法に関する手続き等を再度行うなど、工期を大幅に延伸する必要があった。

一方、再検証の結果、正門の煉瓦基礎の一部を撤去しても、建築物の耐力が減少しないことを確認した。また、安全性を確保しながら施工することが可能となるよう工事施工者を交えて検討した。

煉瓦基礎の一部撤去は、正門の現状変更には当たるものの、上述のとおり文化財保存の観点、工期延伸、安全性の確保等を総合的に判断し、設計書に合わせ撤去するという判断を行った。

なお、基礎の形状については、撤去の前後で記録・保存を行っていく。

これら検証結果を受け、令和６年９月２日に移築・修復工事を再開した。

３　工事中断による影響

（１）正門の移築・修復工事の経費

工事中断期間における設計の再検証と安全性の確認作業、工事再開に向けた人員・資材の調達、作業手順の変更等により、工事及び工事監理において経費の増が生じる。

（２）今後の正門移築・修復工事のスケジュール

工事の中断期間に加え、煉瓦基礎の撤去工事により、約４か月半の工事の遅れが生じる見込みである。

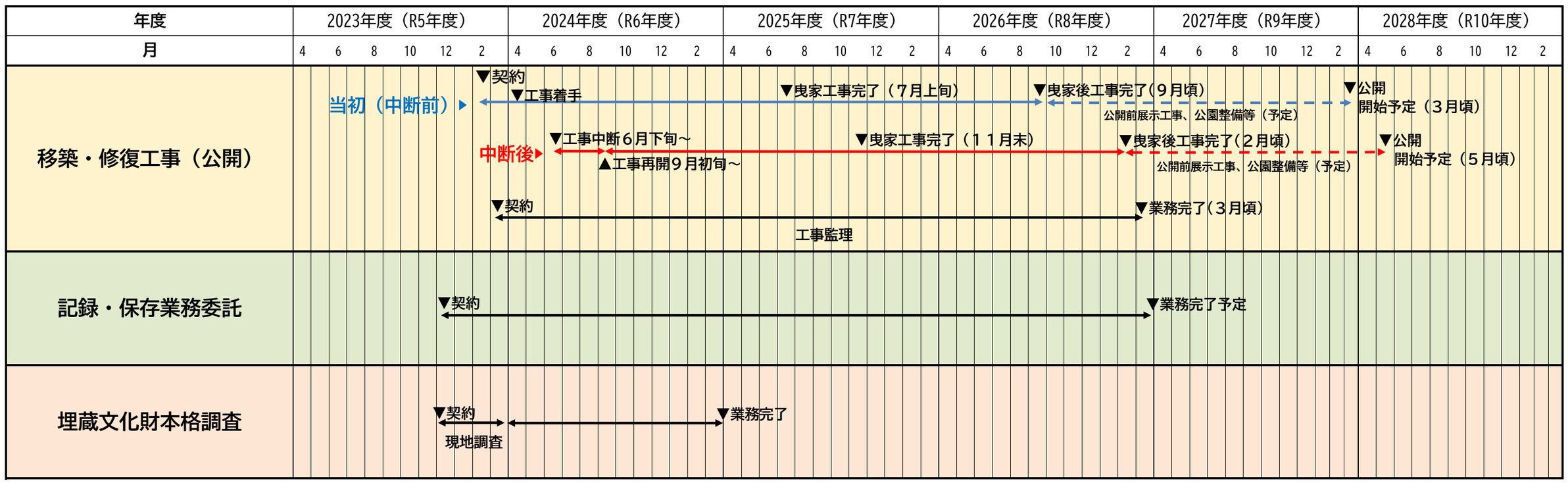
４　今後の予定（想定）

| | | |
|---|---|---|
| 令和　６年度 | ３月末 | 埋蔵文化財本格調査の完了 |
| 令和　７年度 | １１月末 | 移築工事の完了 |
| 令和　８年度 | ２月頃 | 曳家後工事（修復工事）の完了 |
| | ３月末 | 記録・保存業務の完了 |
| 令和１０年度 | ５月頃 | 正門の公開開始 |

※当初予定からの変更については、別添のとおり。

別　添

■今後の工程（旧中野刑務所正門関連）




【参考】平和の森小学校新校舎整備予定

（当初）　令和６年度から令和９年度　新校舎整備工事　　令和９年度　新校舎供用開始

（変更後）令和７年度から令和９年度　新校舎整備工事　　令和１０年度　新校舎供用開始